




報道発表資料の配付日時 11月22日(月) 15時00分

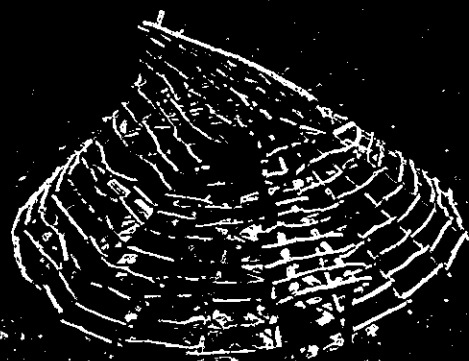
発表項目	「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録記念フォーラムの開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>本年7月、本道初の世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値と魅力に対する理解を深めるとともに、今後の活用について考える「世界遺産登録記念フォーラム」を開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>●「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念フォーラム ～世界遺産登録とこれから～</p> <p>1 日 時 令和3年(2021年)12月4日(土) 14:00～17:00</p> <p>2 場 所 札幌グランドホテル 2階「金枝」(札幌市中央区北1条西4丁目)</p> <p>3 主 催 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟、北海道、北の縄文道民会議</p> <p>4 内 容 (1) 第1部 テーマ 世界遺産としての縄文遺跡群 基調講演(14:10～14:40) 「世界遺産と『北海道・北東北の縄文遺跡群』の価値」 講師:文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室世界文化遺産部門 文化財調査官 鈴木 地平 氏 事例報告(14:40～15:30)</p> <p>(2) 第2部 テーマ 縄文世界遺産のこれから 基調講演(15:40～16:10) 「北海道・北東北の縄文遺跡群に期待すること」 講師:筑波大学 名誉教授 稲葉 信子 氏 パネルディスカッション(16:20～17:00) 「縄文世界遺産、その活用と方向性」</p> <p>5 その他 ※詳細は別紙をご覧ください ・事前申込みが必要です。(定員80名) ・当日は、YouTubeライブによる同時配信を行います。</p>		
			
参 考			
報道(取材)に当たってのお願い	当日はフォーラムの様子をライブ配信する予定ですので、より多くの道民の皆様にご覧いただけるよう、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担 当 (連絡先)	環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室(担当者:主幹 寒河江) TEL ダイヤルイン 011-204-5168 内線 24-142		

JOMON JAPAN

今後の活用について考えましょう！

みなさんでその価値について学び、

地域の方、縄文好きの方、先生方、etc.:



世界遺産登録

写真:函館市 大船遺跡 出典:JOMON ARCHIVES

「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録記念フォーラム ～世界遺産登録とこれから～

本年7月に世界文化遺産に登録された
「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値と魅力に対する理解を
深めるとともに、今後の活用方法について考えるフォーラムです。

定員 80名 | 事前申込制
入場無料

とき

令和3年

12/4(土)

14:00~17:00

ところ

札幌グランドホテル「金枝」
札幌市中央区北1条西4丁目

YouTubeでも無料参加できます!

自宅で職場で無料参加できます。
YouTubeライブによる同時配信!
事前登録なしで、ご覧頂けます。



自然と共生しながら1万年以上も続いた縄文文化は、
持続可能な地域社会の実現を目指す私たちにとって、
学ぶべき貴重な示唆が多くあり、未来に継承すべき
大切な「宝」です。この機会に、世界の宝として認められ
た縄文の価値と魅力に触れ、「北の縄文ファン」となって
いただくことを心から願っております。皆様のご参加を
お待ちしております。

※新型コロナウイルスの感染状況により、
リモート開催のみとなる可能性があります。予めご了承ください。

北海道知事 鈴木直道



お申込み

QRコードかメールからお申し込みできます。 >

メールの場合、kansei.bunka@pref.hokkaido.lg.jpへ
「氏名・連絡先」を明記の上、申込み。

※申込み期限は
12/2(木)まで



主催:
縄文遺跡群世界遺産登録推進本部
縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟
北海道、北の縄文道民会連



第1部 テーマ：世界遺産としての縄文遺跡群

基調講演 (14:10~14:40)

世界遺産と「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値

講師 文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室世界文化遺産部門
文化財調査官

鈴木 地平 氏

滋賀県出身。京都大学大学院文学研究科を経て平成17年(2005年)文化庁技官、平成27年(2015年)から現職。在職中に高崎経済大学大学院地域政策研究科を修了し、博士(地域政策学)。約10年間全国の文化的景観の保存・活用に従事したあと、現在は世界遺産担当として文化財の推薦や保全に携わる。



事例報告 (14:40~15:30)

●「函館市垣ノ島遺跡と大船遺跡の活用の状況」

函館市教育委員会生涯学習部文化財課 兼 世界遺産登録推進室 主査 福田 裕二 氏

●「伊達市北黄金貝塚の活用の状況」

伊達市教育委員会教育部生涯学習課文化財係 主任 永谷 幸人 氏

●「洞爺湖町入江・高砂貝塚の活用の状況」

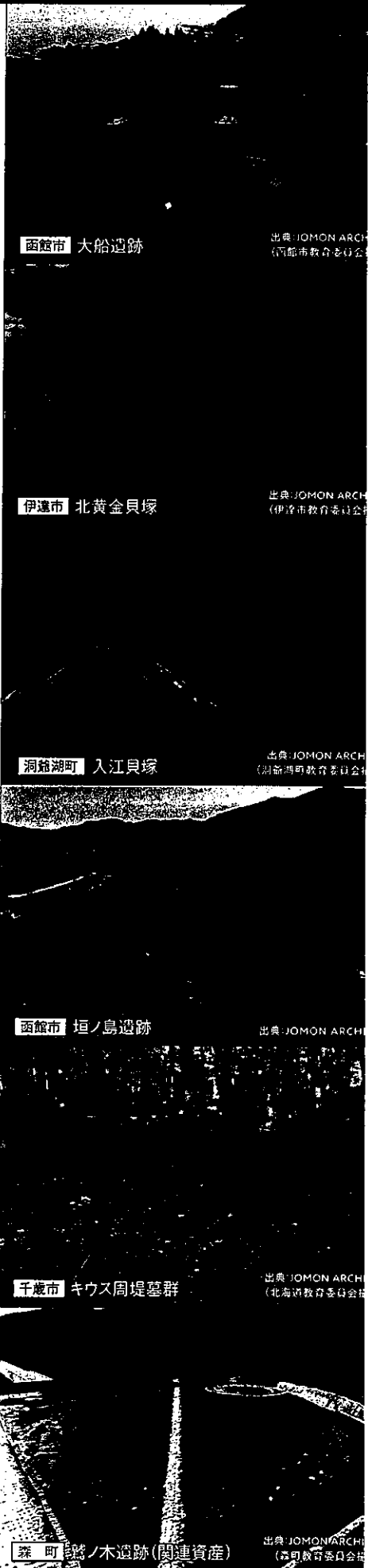
洞爺湖町教育委員会社会教育課 参事 角田 隆志 氏

●「千歳市キウス周堤墓群の活用の状況」

千歳市教育委員会教育部 主幹(国指定史跡担当) 豊田 宏良 氏

●「森町鷺ノ木遺跡の活用の状況」

森町教育委員会社会教育課文化財保護係 係長 高橋 毅 氏



第2部 テーマ：縄文世界遺産のこれから

基調講演 (15:40~16:10)

北海道・北東北の縄文遺跡群に期待すること

講師 筑波大学 名誉教授

稲葉 信子 氏

愛知県出身。東京工業大学理工学研究科を経て工学博士。文化庁、文化財保存修復研究国際センター(ICCROM)、東京文化財研究所文化遺産国際協力センターを経て、平成20年度(2008年度)に筑波大学教授に着任。令和2年度(2020年度)から現職。世界遺産・建築学を専門に、国際的な見地から世界遺産の保全等に関する助言や国際協力事業に携わる。



パネルディスカッション (16:20~17:00)

～縄文世界遺産、その活用と方向性～

【パネリスト】北海道運輸局 観光部 観光地域振興課 地域第一係長 千葉 真裕 氏
北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部営業部 専任課長 観光開発グループ 田中 洋一 氏
札幌国際大学観光学部 教授 池ノ上 真一 氏

【コメンテーター】鈴木 地平 氏 文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室世界文化遺産部門文化財調査官
稲葉 信子 氏 筑波大学 名誉教授

【進行】阿部 千春(北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室 特別研究員)

【総合司会】山口 由美(フリーアナウンサー)

【お問い合わせ】

北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室 ☎011-204-5168

kansei.bunka@pref.hokkaido.lg.jp

